



中石田自治会【仲いーだ☆茶話会】



12月18日(月)午後1時より約2時間、中石田公民館にて中石田自治会【仲いーだ☆茶話会】が開催されました。【仲いーだ】は高齢者を中心とした、年齢問わずどなたでも参加できる交流の場です。その中の一つが【茶話会】で月に1回、行われています。最近では、幅広い年齢層での参加者も増えてきて、毎回、お茶を飲みながらお菓子を食べながら、自由に色々な楽しい会話で盛り上がっています。

本日は、その茶話会で、中石田在住の井口郁子さんが【東日本大震災の体験談】を話してくださいました。井口さんの体験談は、宮城県仙台市のバスの中での大地震の恐怖から始まり、電気・ガス・水道・食料が不足している中で、(避難所が遠いという理由から)避難所へは行かずに息子さんの住むアパートで2人の息子さんと10日間、過酷な生活を強いられていたというお話でした。沼津に住む家族とは、震災2日間は連絡が取れず、元気だという事を伝えられませんでした。そして、震災から10日後に、やっと、バスで無事に沼津へ帰って来られたとのことでした。

実際に、このように大震災の体験談を直接にお聞きすることはあまりないので、参加者の皆さんは、想像を絶するほどの体験談の中に吸い込まれるように聞き入っていて、疑似体験のような気持ちになりました。その後は、体験談をもとに井口さんへの質問や災害時に備えての心構え・絶対に必要な備蓄など、皆さんであれこれと話しました。井口さん、本日はとても貴重なお話をありがとうございました。

【茶話会に参加して良かった！ためになるお話も多いし、楽しい！】と、これは毎回、参加している方からの感想です。また来月も茶話会が楽しみです。興味のある方は開催日程を回覧板でお確かめください。みんなで楽しくお話しませんか♡

